

## 第2回埼玉県消防広域化推進委員会議事録

令和6年11月21日（木）16:00～16:50  
オンライン開催（Zoom）

（出席者）

原田 久 立教大学法学部学部長  
山川 百合子 埼玉県市長会（草加市長）  
筒井 理仁 埼玉県消防長会会長（さいたま市消防局長代理）  
早川 洋子 上尾市消防本部次長  
田中 緑 川越市消防団  
二崎 博美 埼玉県防災士会理事  
犬飼 典久 埼玉県危機管理防災部長

（次第）

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議題  
議題1 埼玉県消防広域化推進計画の改定案について  
議題2 県民コメント実施について  
議題3 その他
- 4 次回の開催日程について
- 5 閉会

（議事）

### 議題1 埼玉県消防広域化推進計画の改定案について

資料「埼玉県消防広域化推進計画案」により、事務局が説明。

（原田委員長）

事務局から改定案について大きな改定内容として、指令業務の共同運用やメディカルコントロール協議会でのブロック分けを反映する形で一部変更ということであったが、委員から質問はいかがか。

（田中委員）

改定されたほうがやりやすいと感じる。

（筒井委員 長江委員代理）

ブロック割の変更はあるが7ブロックを継承する形で問題はない。  
地域の実情で7ブロックそれぞれの中で議論されていく話なので特段異論はないと聞いている。

(事務局)

計画に沿った意見をいただいたので意見を踏まえて計画案を進めていきたい。  
市町村にも改めて意見等を聞く機会も今後設けるのでその中でも意見があれば反映させていきたいと考えている。

(原田委員長)

気になるのは第3、4ブロックの消防本部、自治体という気はしている。最終的には消防組織法では自主的に広域化を進めるということになっているので一番重要なのは構成する市町村、消防本部の意向であるとか、その背後にある様々な消防行政を取り巻く諸環境であるという気はしているが、一旦、適切に判断いただくのは消防本部、自治体と感じる。

こうした団体に対しても意見を照会する機会があると聞いたのでまずはこの改正案で進めても問題はないのかと。

もしこの枠組みと違う形で自主的に広域化の取り組みが出てくることもこの計画では妨げないということであるので実勢を重んじた判断ということで計画が策定されているということと理解した。

他に意見はいかがか。

(山川委員)

この枠組みで良い。その他については事務局からの説明で理解した。

(原田委員長)

事務局についてはこの計画の改定を前提に次なる準備を進めていただきたい。

## 議題2 県民コメント実施について

資料「県民コメントの実施について」により、事務局が説明。

(原田委員長)

県民コメントだけではなく消防本部、構成市町村も含めて説明会等を実施するということが様々な意見を出していただくという説明であったが質問、意見はいかがか。

私から一点質問だが県民の方には改定案のサマリーを作成していただき、どのようなところを主として改定をするのかというような資料を本編以外にも作成していただきたい。

(事務局)

概要版を作成した上でわかりやすい資料を含めて県民コメントを実施する。

(原田委員長)

どのような形で概要版を作成するかはお任せするが県民として自分達の消防に対する関心がさらに高まっていくような一つのきっかけにもしていただきたい。

計画をより良いものにするということもあるが、この機会を借りて県民の消防意識を高めるようなチャンスになればいいと願っている。

特段、委員の方から他の意見はないがもし何かあれば事務局まで伝えていただきたい。